

入 場 料

一 般	3,000円 (当日3,500円)
学 生	1,500円 (当日2,000円)
2日間通し券 [事前申込、一般のみ]	5,000円 (当日6,000円)

ご 予 約 お 問 い 合 わ せ

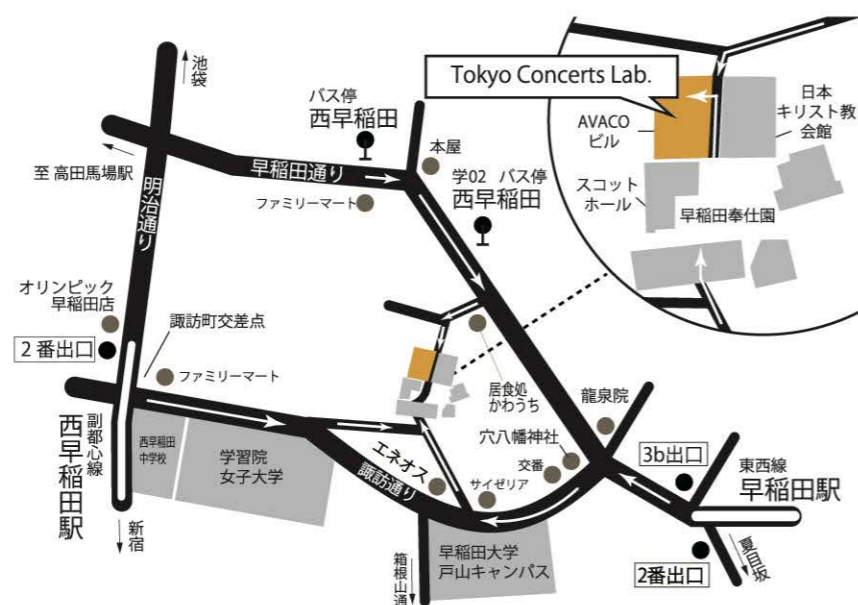
☎ 東京コンサーツ 03-3200-9755 (平日10:00~18:00)

🌐 ラボ公式サイト <http://tocon-lab.com/event/170708>
公演特設ページよりご予約いただけます。

ア ク セ ス

トーキョーコンサーツ・ラボ

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 AVACOビル1階
東京メトロ東西線早稲田駅より徒歩6分



The Concert of Tokyo Concerts

Quartetto L'estro Armonico

spiral & sequence

クアルテット・レストロ・アルモニコ
2017.7.8 (土) - 9 (日)

トーキョーコンサーツ・ラボ

Quartetto
L'estro
Armonico



© Suzu Niyama

クアルテット・レストロ・アルモニコによる二日間連続リサイタル 『スパイラル&シーケンス』

私たちクアルテット・レストロ・アルモニコは、これまで日本やヨーロッパで活動してきた4人の音楽家が2015年に東京に集まり、弦楽四重奏の作品の研究によって音楽の深い根源を追求したいという思いで結成されました。それからおよそ1年半の活動を経て、この度、第1回目のリサイタルを開催いたします。

プログラムはモーツァルト、ベートーヴェン、メンデルスゾーン、そしてバルトークを取り上げます。どの作曲家も、その時代を「あっ」と言わせた音楽の発明者でした。18~20世紀の古典音楽、ロマン派、そして現代音楽まで、当時の驚きを再現する喜びをもって取り組んでいます。

私たちの団体名は、ヴィヴァルディの作品名「L'estro Armonico(調和の靈感)」から付けました。4人×4本=16本の弦の調和によって紡がれる、ダイナミックで色あざやかな音楽によってこの200年の時の流れを感じ、お楽しみいただければ、私たちにとってこの上ない喜びです。

2017.7.8
【土】

● 本公演 17:00開演 (16:30開場)

モーツァルト (1756~1791) :
弦楽四重奏曲 第16番 変ホ長調 K.428
W.A.Mozart : String Quartet No.16 in E-flat major, K.428

ベートーヴェン (1770~1827) :
弦楽四重奏曲 第9番 ハ長調「ラズモフスキー 第3番」作品59-3
L. Beethoven : String Quartet No. 9 in C major, Op.59-3

バルトーク (1881~1945) :
弦楽四重奏曲 第5番 Sz.102
B. Bartok : String Quartet No. 5, Sz. 102

2017.7.9
【日】

● 昼公演 12:00~13:00 ※投げ銭制

公開リハーサル (未就学児入場可能)
プログラム…本公演より抜粋

● 本公演 17:00開演 (16:30開場)

ベートーヴェン (1770~1827) :
《大フーガ》変ロ長調 作品133
L.Beethoven : The Grosse Fuge, Op. 133

バルトーク (1881~1945) :
弦楽四重奏曲 第5番 Sz.102
B. Bartok : String Quartet No. 5, Sz. 102

メンデルスゾーン (1809~1847) :
弦楽四重奏曲 第1番 変ホ長調 作品12
F.Mendelssohn : String Quartet No. 1 in E flat major, Op. 12

※予告なしに曲目に変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

伊藤 亜美 / ヴァイオリン

東京藝術大学附属高校、同大学を経てローザンヌ高等音楽院修士課程、イギリス王立北音楽院(RNCM)IAディプロマコース修了。江藤俊哉ヴァイオリンコンクール、日本音楽コンクールにて第1位。RNCMマンチェスター国際ヴァイオリンコンクール優勝、委嘱作品最優秀演奏賞。カール・フレッシュ国際ヴァイオリンコンクール第2位。これまでに仙台フィルハーモニー管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、イギリス・ロイヤルリヴァプールフィルハーモニー交響楽団、ハンガリー・ジュール交響楽団など国内外のオーケストラと共演するほか、イギリス、セルビア、スイス、韓国、中国などでリサイタルを開催。これまでにヴァイオリンを山下真澄、ハビブ・カヤレ、石井志都子、澤和樹、ジェラルド・プーレ、オレグ・クリサ、ピエール・アモイヤル、ヤイル・クレスの各氏に師事。2014年初のソロCD『French Romanticism』をリリース。2016年より活動名を「尾池亜美」から「伊藤亜美」に変更。同年5月、セカンドアルバム『A』をリリース。レコード芸術誌特選盤に選出される。

<http://www.amiito.com>

須山 暢大 / ヴァイオリン

都立芸術高校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。第1回宗次エンジェルヴァイオリンコンクール第2位。シオン・ヴァレ国際ヴァイオリンコンクール入賞。ヴァイオリンをG・フェイギン、石川静、G・プーレ、山口裕之、S・アシュケナー各氏に師事。ソリストとしてセントラル愛知交響楽団、藝大フィルハーモニア、東京室内管弦楽団、Shlomo・Mintz指揮Orchestre Dohnanyi Budafok, Spirit of Europe等と共演。これまでに、サイトウキネンオーケストラ、紀尾井シンフォニエッタ、赤穂国際音楽祭プレコンサート、姫路国際音楽祭プレコンサート等多数出演。現在エピス・クアルテットでベートーヴェン弦楽四重奏曲後期作品シリーズを毎年開催。又、群馬交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等のオーケストラにコンサートマスターとして客演し、ソロ活動や室内楽でも活躍している。

安達 真理 / ヴィオラ

4歳よりヴァイオリンを始め、桐朋学園大学在学中にヴィオラに転向。卒業後、同大学研究生修了。ウィーン国立音楽大学室内楽科を経て、ローザンヌ高等音楽院修士課程を最高点で修了。同音楽院ソリスト修士課程を修了。霧島国際音楽祭にて優秀演奏賞受賞。第6回大阪国際音楽コンクールアンサンブル部門第1位。ウィーン国立音楽大学国際夏期アカデミーにおけるコンクールにてソリスト賞受賞。カメラータ・デ・ローザンヌのメンバー、インスブルック交響楽団にて副首席ヴィオラ奏者を務めた。バンベルク交響楽団にて首席ヴィオラ奏者として客演。現在クアルテット・レストロ・アルモニコ、イギリスを拠点にアラウダ・カルテットのメンバーとして室内楽に力を入れているほか、パーヴォ・ヤルヴィ氏が芸術監督を務めるパルヌ音楽祭に出演するなど国内外で活動している。これまでにバーデンバーデン管弦楽交響楽団、ローザンヌ室内管弦楽団と共演。ヴァイオリンを篠崎功子、ヴィオラを店村真積、ジークフリート・フェーリンガー、今井信子、ギラッド・カルニ、室内楽をヨハネス・マイスル各氏に師事。
<http://www.mariadachi.com>

山澤 慧 / チェロ

東京藝術大学附属高校、同大学を経て、同大学院を修了。大学卒業時に同声会賞受賞、大学院修了時に大学院アカンサス賞受賞。第10回ビバホールチェロコンクール第3位。第2回秋吉台音楽コンクールチェロ部門第1位。第11回現代音楽演奏コンクール「競奏XI」第1位、第24回朝日現代音楽賞受賞。音川健二、藤沢俊樹、河野文昭、西谷牧人、鈴木秀美、山崎伸子の各氏に師事。チェロアンサンブルXTC、アンサンブル室町メンバー。藝大フィルハーモニア管弦楽団首席チェロ奏者、千葉交響楽団契約首席チェロ奏者。
<http://www.yamazawakei.com>

© Shigeto Imura

© Ayane Shindo